

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公表番号】特表2013-529628(P2013-529628A)  
 【公表日】平成25年7月22日(2013.7.22)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-039  
 【出願番号】特願2013-516160(P2013-516160)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7076 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7076  
 A 6 1 P 17/00  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 43/00 1 0 5  
 A 6 1 P 17/16

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年6月18日(2014.6.18)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

アデノシンリン酸エステル及びその塩よりなる群から選択される少なくとも 1 種であるプリン系核酸を有効成分として含有することを特徴とする、光曝露に起因する皮膚細胞異常化の抑制における使用のための組成物。

【請求項 2】

経皮適用される請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

アデノシンリン酸エステルがアデノシンーリン酸であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記皮膚細胞異常化の抑制が、DNA修復又はDNA変異抑制を伴うことを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 5】

前記皮膚細胞異常化の抑制が、アポトーシスの誘導を伴うことを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

前記皮膚細胞異常化の抑制が、皮膚腫瘍の予防であることを特徴とする、請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

皮膚腫瘍の予防が、皮膚腫瘍のイニシエーションの抑制を伴うことを特徴とする、請求項 6 に記載の組成物。

## 【請求項 8】

前記皮膚腫瘍の予防が、皮膚癌の予防を目的とすることを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の組成物。

## 【請求項 9】

総量中に 0 . 5 ~ 2 0 重量%のアデノシンーリン酸及び又はその塩よりなる群から選択される少なくとも 1 種を含有することを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか に記載の組成物。